



令和7年12月18日

中野市長 湯本 隆英 様

中野市総合計画審議会
会長 市 川 真 一

第3次中野市総合計画前期基本計画（案）について（答申）

令和7年11月6日付け7第3035号で諮問のあった「第3次中野市総合計画前期基本計画（案）」について、下記のとおり答申します。

記

慎重に審議した結果、原案は適当であります。

なお、総合計画の実施にあたっては、本審議会でも出された意見を尊重し、着実な実現に努められるよう要望するとともに、次の点に配慮されるよう申し添えます。

- 1 人口減少・少子高齢化など社会情勢の変化に対し、市の財政面を考慮したうえで適確に対応し、最少の経費で最大の効果を上げるよう、創意工夫を凝らして施策展開を図ること。
- 2 婚活支援や子育てに関する経済的負担の軽減等、幅広い意味での子育て支援施策を充実させるとともに、これからの中野市を支えていく子どもたちを育てていくため、学校教育の更なる充実を図ること。
- 3 全国的に頻発する有害鳥獣問題や耕作放棄地の増加等の課題に適切に対処するとともに、認定農業者や新規就農者への支援を行い、市の基幹産業である農業の発展に努めること。

- 4 縦割り行政を改革し、常に市民目線で考え、企業・団体等と分野横断的に取組を推進するよう努めること。
- 5 行政と市民とがともに手を携え、地域の魅力の積極的なPRに努めること。
- 6 市民目線での意見や要望等を大切にしながら、わかりやすくイメージしやすい計画とすること。
- 7 体育施設の充実等を通じてスポーツの振興を図るととともに、音楽、美術をはじめとする文化芸術活動への支援に努めること。
- 8 将来都市像の実現に向け、可能な限り数値目標に基づく進捗管理を行うことで、基本計画の取組の着実な推進に努めること。